



三重北小学校
学校通信 7
R8.9.7

2^{がっ き はじ}学期が始まりました

↑↑↑6年生の作品「あられ」です



こ と し な が な つ や す れ ん じ つ あ つ ひ つ づ に ち か ん や す お
今年は長い夏休み。連日、暑い日が続いた45日間の休みが終わり、

い っ し ゅ う か ん こ ん し ゅ う に ち じ ゅ う に っ か
一週間がたちました。今週から、また日常の日課にもどります。

し ぎ ょ う し き げ ん き わ か た け さ ん た ち と の 再 会 に 喜 び 、 ま た 、 互 い に 楽 し そ う に お し ゃ

べ り し て い る 様 子 に 「 や っ ぱ り 学 校 は い い な ー 」 と 実 感 し ま し た 。 2 学 期 も 職 員 一 同 、

あ い
「愛」をもって教育活動を進めていきます。保護者のみなさま、地域のみなさま、変わら

ぬ ぐ 支 援 ご 協 力 を お 願 い し ま す 。



ぎ ょ う じ も み え き た し ょ う が っ こ う
行事が盛りだくさんの三重北小学校

取 組 み を 通 し て 「 力 」 を つ け る

2 学 期 も 、 行 事 が た く さ ん 予 定 さ れ て い ま す 。 三 重 北 小 が 誇 る 「 地 域 学 習 」 、 宿 泊

を 伴 う 、 5 年 「 自 然 教 室 」 (1 0 / 5 , 6) 、 6 年 「 修 学 旅 行 」 (1 0 / 2 6 , 2 7) 。 各 学 年 「 ス マ イ

ル 交 流 (小 規 模 校 ア シ ス ト 事 業) 、 運 動 会 (1 1 / 7) 、 5 , 6 年 三 泗 音 楽 会 (1 1 / 1 2) 、



社 会 見 学 。 ま た 、 み ん な の 意 見 や 思 い を 吸 い 上 げ 、 児 童 会 が 企 画 運 営

す る 「 ○ ○ 集 会 」 や 、 4 ～ 6 年 か ら な る 各 委 員 会 で は 、 日 常 的 に 児 童 主

体 の キ ャ ン ペ ー ン や 取 組 み が 繰 り 広 げ ら れ ま す 。 ぜ ひ と も 三 重 北 小

学 校 の こ ど も た ち に は 、 「 た だ 行 事 を こ な す 」 の で は な く 、 行 事 (取 組 み) に 「 目 的 」

(何 を め ざ す の か) と 「 自 分 に つ け た い 力 」 (何 を つ か む の か) を 明 ら か に し な が ら 、

み ず か し ゅ た い て き と ち ょ う せん
自 ら 主 体 的 に 取 組 み 、 よ り よ き 挑 戦 を し て い っ て ほ し い と 思 い ま す 。



☆ 学 校 生 活 の 様 子 は 、 本 校 ホ ー ム ペ ー ジ を ご 覧 く だ さ い ☆



【 学 校 よ り R 8 年 度 日 誌 】



^{あんしん} ^{せいかつ} ^{み え きたしょうがっこう}
みんなが安心して生活できる三重北小学校に  **ひとをたいせつにしよう** 

ともだち ^{か ぞく} ^{ち いき} ^{ひと} ^{じ ぶん} ^{ひと} 家族 地域の人 自分にかかわる人 そして、^{がっこう} ^{せんせい} ^{しよくいん} 学校の先生・職員 もちろんそれ
以外の人たちも。わたし(わたしたち)の生活に欠かせない、わたしをささえてくれる人たちのことを^{おも} ^{たいせつ} ^{つか} ^{こと ば} ^{かんが} ^{こと ば づか} 思い、その「つながり」を大切にしていこう。遣う言葉も考えたい。(言葉遣い)

1学期の「^{がっ き} ^{み え きた} 三重北まつり」にて、^{ぜんこう} ^{じ どう} 全校児童で「^{ぼう し} ^{かんせい} ニョッキーの帽子」を完成させました。
ニョッキーの帽子にそれぞれ、^{じ ぶん} ^す ^{いろ} 自分が好きな色をぬりました。こめた思いは、「^{じ ぶん} ^す 自分の好きなものを好きと言える」ということ。(表現する) ^{ねんせい} ^{とうと} ^{はっしん} 6年生からのとても **尊い発信**でした。



まず、「好きと言える」には、^{ひ てい} ^{おも} ^{そんちよう} 否定されない、思いが尊重される^{あんしん} ^{かんきよう} 安心できる環境でなければなりません。これをみんなで^{つく} 作っていきたいです。さらに、^{み え きたしょう} ^こ 三重北小の子どもたちには、「〇〇さんは～～が好きなんだ」を知るだけに終わらず、「その^{おも} ^き 思いを聴こう」とコミュニケーションをとり、**よりよく知り合う** ^し ^あ ^{し ぜん} ^{かんけい} ^{きず} 自然な関係を築いてほしいと思います。それにより、^{じ ぶん} ^{かん} ^{かた} ^{か ち かん} ^で 自分にはなかった感じ方や、価値観に出あうことができ、その^つ ^{かさ} ^{ゆた} 積み重ねが人を「**豊か**」にします。

今の社会は「^{いま} ^{しゃかい} ^{た よう か} 多様化」にあり、人も、^{ひと} ^{か ち かん} ^{た よう} 価値観も多様です。さまざまな^{ちが} ^{ぜんてい} **違い**を前提に^{そんちよう} ^{たいせつ} ^{がっ き} ^{ねんせい} ^{はっしん} ^{ぜんこう} ^{ひょうげん} 尊重しあうことが大切です。1学期の6年生の発信から、全校が表現したことを**つなぎ**、
「ひとをたいせつにすることとは」、「^{あんしん} ^{せいかつ} 安心して生活できるとは」について、日常や^{じんけんがくしゅう} ^{とお} ^{かんが} ^{じつげん} 人権学習を通して**みんなで考え**、実現していきたいです。「ニョッキーの帽子」を
キーワードに、^{ひ び} ^{たし} ^こ 日々、確かめあいながら、子どもたちにとって、^{あんしん} ^{せいかつ} ^{ほこ} 安心して生活できる「誇れる学校」「^{かよ} ^{たの} ^{がっこう} ^{つと} 通うのが楽しい学校」づくりに、努めます。ぜひとも保護者、^{ほ ぐしや} ^{ち いき} 地域のみなさまにも^ひ ^{つづ} ^{ささ} ^{ねが} 引き続き、お支えいただきますようよろしくお願いいたします。